

## 第 67 回日本救急医学会関東地方会幹事会

---

2017 年 2 月 4 日 (土) 12 : 20~13 : 20

会場 : 栃木県総合文化センター 第 4 会場 (第 1 会議室)

議事録署名人の確認

三宅常任幹事長

新幹事推薦 (資料①)

物故会員黙祷

### 報告事項

- |                                       |        |
|---------------------------------------|--------|
| 1. 庶務報告 (資料②)                         | 河野常任幹事 |
| 2. 各常任幹事担当報告                          |        |
| ①看護部会 (資料③)                           | 佐藤常任幹事 |
| ②救急隊員部会・関東地方 MC 検討委員会 (資料④)           | 松田常任幹事 |
| ③SOS-KANTO 委員会・多施設研究検討委員会 (資料⑤)       | 武田常任幹事 |
| ④関東地方災害医療検討委員会 (資料⑥)                  | 河野常任幹事 |
| ⑤編集委員会 (資料⑦)                          | 田中常任幹事 |
| ⑥ホームページ (資料⑧)                         | 田中常任幹事 |
| 3. 第 67 回日本救急医学会関東地方会報告               | 小野会長   |
| 4. 第 68 回日本救急医学会関東地方会<br>準備状況報告 (資料⑨) | 森村次期会長 |

### 審議事項

- |                        |         |
|------------------------|---------|
| 1. 2016 年度決算報告 (資料⑩)   | 河野常任幹事  |
| 2. 2017 年度予算について (資料⑪) | 河野常任幹事  |
| 3. 名誉会員の推戴について (資料⑫)   | 三宅常任幹事長 |
| 4. 次々期会長について           | 三宅常任幹事長 |

新幹事候補者リスト					
	新幹事候補者名	所属	出身大学	卒業年	資格
1	もとむら ともかず 本村 友一	日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター	佐賀医科大学	平成12年	有
推薦者：松本 尚(日本医科大学救急医学)、横田裕行(日本医科大学救急医学) 入会日：平成22年2月6日					
2	きたぞの まさとし 北園 雅敏	日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院 救急科	日本医科大学 日本医科大学大学院	平成24年	有
推薦者：横田裕行(日本医科大学救急医学)、佐藤秀貴(東京臨海病院 救急科) 入会日：平成20年2月9日					
3	ましこ かずき 益子 一樹	日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター	筑波大学	平成12年	有
推薦者：松本 尚(日本医科大学救急医学)、横田裕行(日本医科大学救急医学) 入会日：平成20年10月23日					
4	みやぎき たい 宮崎 大	前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科	神戸大学	平成11年	有
推薦者：中野 実(前橋赤十字病院)、横江隆夫(洪川医療センター) 入会日：平成24年2月4日					
5	よこむら ひろき 横室 浩樹	東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター	東邦大学医学部	平成1年	有
推薦者：本多 満(東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター)、吉原克則(東邦大学医療センター大森病院 救急・災害統括部) 入会日：平成24年12月4日					
6	いちばやし りょう 一林 亮	東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター	東邦大学医学部	平成15年	有
推薦者：本多 満(東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター)、吉原克則(東邦大学医療センター大森病院 救急・災害統括部) 入会日：平成24年12月4日					
7	かしうら まさひろ 柏浦 正広	東京都立墨東病院 救命救急センター	京都府立医科大学 医学部医学科	平成18年	有
推薦者：三浦邦久(社会医療法人社団順江会江東病院麻酔科)、守谷俊(自治医科大学附属さいたま医療センター救急科) 入会日：平成24年12月4日					
8	でくち よしずみ 出口 善純	東京女子医科大学東医療センター 救急医療科・救命救急センター	奈良県立医科大学	平成8年	有
推薦者：大友康裕(東京医科歯科大学)、庄古知久(東京女子医科大学東医療センター) 入会日：平成26年4月10日再入会 ※平成8年5月1日入会、平成18年12月31日退会					
9	えんどう あきら 遠藤 彰	東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター	山梨大学医学部医学科	平成18年	有
推薦者：大友康裕(東京医科歯科大学)、加地正人(東京医科歯科大学) 入会日：平成25年2月16日					
10	はしもと まさゆき 橋本 昌幸	埼玉医科大学総合医療センター 救急科(ER)	埼玉医科大学 医学部医学科	平成19年	有
推薦者：杉山聡(埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)、興水健治(埼玉医科大学総合医療センター 救急科) 入会日：平成23年3月18日					
11	ぐんしん まさたか 軍神 正隆	東京大学医学部附属病院 救急部集中治療部	長崎大学医学部	平成7年	有
推薦者：森村尚登(東京大学救急医学)、中島勲(東京大学救急医学) 入会日：平成24年2月4日					
12	くれまつ くみこ 樽松 久美子	北里大学病院 RST・RRT室	北里大学大学院 看護学研究科修士課程	平成18年	有
推薦者：花鳥資(北里大学医学部救命救急医学)、片岡祐一(北里大学医学部救命救急医学) 入会日：平成25年1月9日					
13	あかいけ まなみ 赤池 麻奈美	東京女子医科大学東医療センター 看護部	東京女子医科大学 看護専門学校	平成14年	有
推薦者：庄古知久(東京女子医科大学東医療センター)、佐藤憲明(日本医科大学付属病院) 入会日：平成23年1月21日					
14	すぎもと なおこ 杉本 尚子	東京都立広尾病院 救急外来	(一社)下関医師会 下関看護専門学校	平成6年	有
推薦者：佐藤憲明(日本医科大学付属病院)、小池伸享(前橋赤十字病院) 入会日：平成24年9月12日					
15	いがわ ようこ 井川 洋子	総合病院 土浦協同病院 救命救急センター 救急外来	土浦協同病院附属 看護専門学校	平成12年	有
推薦者：小山泰明(筑波大学附属病院)、染谷泰子(JAとりで総合医療センター) 入会日：平成22年2月6日					
16	おおや せいろう 大屋 聖郎	横浜労災病院 救命救急センター	福岡大学 医学部医学科	平成16年	有
推薦者：木下弘壽(横浜労災病院)、中森知毅(横浜労災病院) 入会日：平成25年4月5日					
17	こぐち よりお 古口 徳雄	千葉県救急医療センター 神経系治療科	千葉大学医学部	昭和60年	有
推薦者：小林繁樹(千葉県救急医療センター)、藤芳直彦(千葉県救急医療センター) 入会日：平成19年2月3日					

新幹事候補者リスト					
	新幹事候補者名	所属	出身大学	卒業年	資格
18	なかむら かよ 中村 香代	災害医療センター 9階ICU病棟	東京女子医科大学大学院 看護学研究科	平成26年	有
推薦者：萩原章嘉(国立国際医療研究センター)、加藤宏(災害医療センター) 入会日：平成24年6月18日					
19	やじま まさこ 谷島 雅子	自治医科大学附属病院 救命救急センター	自治医科大学大学院 看護学研究科	平成24年	有
推薦者：佐藤憲明(日本医科大学附属病院)、小池伸享(前橋赤十字病院) 入会日：平成25年2月16日					
20	よしの あきこ 吉野 暁子	埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター-外来	埼玉医科大学短期大学 看護学科	平成4年	有
推薦者：根本学(埼玉医科大学国際医療センター)、佐藤憲明(日本医科大学附属病院) 入会日：平成28年2月6日再入会 ※平成22年2月6日入会、平成26年12月31日退会					
21	ふなこし ひらく 船越 拓	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 東京女子医科大学附属八千代医療センター 画像診断・IVR科	東京大学大学院 医学系研究科	平成28年	有
推薦者：渋谷正徳(松戸市立病院)、貞広智仁(東京女子医科大学八千代医療センター) 入会日：平成25年5月15日					
22	ふじたに しげき 藤谷 茂樹	聖マリアンナ医科大学 救急医学	自治医科大学	平成2年	有
推薦者：平泰彦(聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター)、和田崇文(聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター) 入会日：平成23年7月25日					
23	もりさわ けんいちろう 森澤 健一郎	聖マリアンナ医科大学 救急医学	聖マリアンナ医科大学大学院 医学研究科	平成18年	有
推薦者：平泰彦(聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター)、和田崇文(聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター) 入会日：平成11年8月25日					
24	あたけ しげる 阿竹 茂	筑波メディカルセンター病院 救急診療科	筑波大学 医学専門学群	平成1年	有
推薦者：大橋教良(帝京平成大学)、河野元嗣(筑波メディカルセンター病院) 入会日：平成12年1月1日					
25	たけだ さとし 武田 聡	東京慈恵医科大学 救急医学講座	山梨医科大学 医学部博士課程	平成7年	有
推薦者：卯津羅雅彦(慈恵医大附属柏病院救命センター)、奥野憲司(筑波メディカルセンター病院) 入会日：平成19年2月5日					
26	やました なおみ 山下 直美	東京医科歯科大学医学部附属病院 看護部中央診療部門	聖マリアンナ医科大学 看護専門学校	昭和61年	有
推薦者：佐藤憲明(日本医科大学附属病院)、小池伸享(前橋赤十字病院) 入会日：平成25年2月16日					
27	おかもと けん 岡本 健	順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科	大阪大学大学院医学研究科 看護専門学校	平成4年	有
推薦者：田中裕(順天堂大学医学部附属浦安病院)、井上貴昭(筑波大学附属病院) 入会日：平成26年1月30日					
28	せき ゆたか 関 裕	医療法人社団 永生会 南多摩病院 救急科・循環器科	聖マリアンナ医科大学	平成9年	有
推薦者：益子邦洋(南多摩病院)、相川直樹(慶應義塾大学) 入会日：平成23年4月1日					
29	みやうち ひろし 宮内 洋	杏林大学医学部附属病院 救急科	帝京大学医学部	平成9年	有
推薦者：山田芳裕(杏林大学医学部救急医学)、樽井武彦(杏林大学医学部救急医学) 入会日：平成25年10月15日					
30	こやま ともひで 小山 知秀	帝京大学医学部附属病院 救急科	弘前大学医学部	平成12年	有
推薦者：坂本哲也(帝京大学医学部救急医学)、三宅康史(帝京大学医学部救急医学) 入会日：平成23年11月11日					
31	なおい みつえ 直井 みつえ	済生会宇都宮病院 救急外来	済生会宇都宮病院附属 看護専門学校	平成8年	有
推薦者：木澤晃代(日本看護協会 看護研修学校)、小林健二(済生会宇都宮病院) 入会日：平成22年2月6日					
32	すずき りょう 鈴木 亮	東京医療センター 救急科	東京慈恵医科大学医学部	平成9年	有
推薦者：尾本健一郎(東京医療センター)、菊野隆明(東京医療センター) 入会日：平成24年4月25日					
33	こまつ たかゆき 小松 孝行	順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科	順天堂大学医学部	平成20年	有
推薦者：杉田学(順天堂大学医学部附属練馬病院)、野村智久(順天堂大学医学部附属練馬病院) 入会日：平成25年2月16日					

## 2016 年度 庶務報告

(2016 年 12 月 31 日現在)

総会員数 :	1166 名	(新会員 128 名)
幹事	317 名	(新幹事* <sup>1</sup> 12 名)
名誉	40 名	(新名誉会員 2 名)
一般 (医師)	583 名	(新会員 84 名)
一般 (看護師)	195 名	(新会員 38 名)
一般 (救急救命士)	12 名	(新会員 2 名)
一般 (その他・不明)	19 名	(新会員 4 名)

\*<sup>1</sup>2016 年 2 月幹事会承認

退会者数 : 152 名 (うち 137 名は会費滞納による自然退会)

名誉	1 名
幹事	5 名
一般 (医師)	90 名
一般 (看護師)	44 名
一般 (救急救命士)	7 名
一般 (消防)	2 名
一般 (ME)	1 名
一般 (その他・不明)	2 名

会員のご逝去 2 名 (退会者数に含む)

吉井 宏 先生 (よしい ひろし) 2016 年 7 月 25 日ご逝去

小林 國男 先生 (こばやし くにお) 2016 年 12 月 22 日ご逝去

## 看護部会報告

平成 29 年 2 月 4 日  
看護部会担当常任幹事  
佐藤 憲明

### 1. 2016 年会議開催報告

#### ①看護部会運営委員会 2 回開催

第 1 回看護部会運営委員会：2 月 6 日（土）都市センターホテル

第 2 回看護部会運営委員会：12 月 4 日（火）TKP 品川カンファレンスセンター

#### ②看護部会施設代表者会 1 回開催

2 月 6 日（土）都市センターホテル

### 2. 看護部会の活性化について

#### a.) 委員の追加について

第 2 回看護部会運営委員会での決定に基づき、次回看護部会運営委員会（2017 年 2 月 4 日、於：栃木県総合文化センター）より 2 名の委員を追加した。

#### b.) 取り組みについて

トリアージについて加算の現状、トリアージ加算取得に向けた支援の検討

以上

日本救急医学会関東地方会会員各位

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

第 67 回日本救急医学会関東地方会学術集会の前日 (2/3) の夕方に、地方会学術集会と同じ会場で第 3 回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会を開催いたします。今回のテーマは、「関東地方における指導救命士の進捗状況と今後の課題」です。

連絡会には、事前申し込みは不要で、どなたでも参加できます。メディカルコントロールにかかわっておられる会員諸氏には、有益な情報を提供できると考えております。

奮ってのご参加をお待ち申し上げます。なお、お問い合わせは担当常任幹事の松田潔（日本医科大学武蔵小杉病院 k-matsuda@nms.ac.jp）までお願いします。

敬具

~~~~~

## 第 3 回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会

主催：日本救急医学会関東地方会

日時：2017 年 2 月 3 日（金） 17:20～19:20

会場：栃木県総合文化ホールメインホール 栃木県宇都宮市本町 1-8

「関東地方における指導救命士の進捗状況と今後の課題」

司会：日本救急医学会関東地方会常任幹事長 三宅康史（帝京大学医学部救急医学）

〃 常任幹事 松田潔（日本医科大学武蔵小杉病院）

コメンテーター：総務省消防庁救急企画室課長補佐 森川博司

基調講演（15 分）

総務省「救急救命士の教育のあり方検討班」班長 山口芳裕（杏林大学医学部救急医学）

各都県の発表（各 5 分）

茨城県生活環境部防災危機管理局消防安全課消防グループ係長 益子真一

栃木県県民生活部消防防災課係長 照内和幸

群馬県総務部消防保安課消防係長 高橋剛生

埼玉県危機管理防災部消防防災課主任 山崎大

千葉県防災危機管理部消防課企画指導室長 室田泰彦

東京消防庁救急部救急指導課課長補佐兼救急指導係長 立川満

神奈川県安全防災局安全防災部消防課副課長 中村純也

討議（60 分）



## SOS-KANTO 委員会報告

2017年2月4日

SOS-KANTO 担当常任幹事

武田 宗和

### 1. 2016 年会議開催報告

#### ①全体会議 1回開催

第1回：2月6日（土）都市センターホテル

#### ②SOS-KANTO 運営小委員会 2回開催

第1回：1月14日（土）へるす出版事業部会議室

第2回：6月23日（土）へるす出版事業部会議室

※2017年度第1回運営小委員会 2月1日（水）へるす出版事業部会議室

#### ③第66回日本救急医学会 関東地方会にて「SOS-KANTO 2012 The 総括 ～過去・現在 そして未来～」と題したシンポジウムを開催し、総括が行われた。

### 2. SOS-KANTO2012 論文（一覧別紙参照）

2017年2月4日現在、発表論文は11本。

### 3. SOS-KANTO 2017 study について

- ・ SOS-KANTO 委員会の設置

### 4. SOS-KANTO 主導以外の RCT への参加について

- ・ The TAME Cardiac Arrest Trial（別紙参照）
- ・ 院外心停止後患者に対する水素ガス吸入療法の有効性の検討  
（Ⅱ相試験：多施設介入研究）

以上

| 発行学会               | 学会誌名                               | 掲載巻・ページ詳細                                    | 掲載年  | グループ<br>No. | 論文タイトル                                                                                                                                                                                                                                      | 執筆者                 | 執筆者所属機関               | 備考 |
|--------------------|------------------------------------|----------------------------------------------|------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------------|----|
| 日本救急医学会<br>Surgery | Acute Medicine &<br>Surgery        | 2:225-233                                    | 2015 | 1           | Changes in pre- and in-hospital management and outcomes for out-of-hospital cardiac arrest between 2002 and 2012 in Kanto, Japan: the SOS-KANTO 2012 Study.                                                                                 | Takashi Tagami      | 日本医科大学救急医学            |    |
|                    | Critical Care                      | 19:322. DOI<br>10.1186/s13054-015-<br>1028-0 | 2015 | 6           | Subsequent shock deliveries are associated with increased favorable neurological outcomes in cardiac arrest patients who had initially non-shockable rhythms                                                                                | Nobuya Kitamura     | 君津中央病院救命救急センター        |    |
|                    | Resuscitation                      | 97:76-82                                     | 2015 | 1           | Changes in treatments and outcomes among elderly patients with out-of-hospital cardiac arrest between 2002 and 2012: A post hoc analysis of the SOS-KANTO 2002 and 2012                                                                     | Hiroshi Endo        | 日本医科大学救急医学            |    |
| 日本救急医学会<br>Surgery | Acute Medicine &<br>Surgery        | 3:250-259                                    | 2016 | 6           | The investigation and treatment of pulmonary embolism as a potential etiology may be important to improve post-resuscitation prognosis in non-shockable out-of-hospitalcardiopulmonary arrest — Report on an analysis of the SOS-KANTO 2012 | Yoshida Toru        | 聖マリアンナ医科大学横浜市西部<br>病院 |    |
|                    | J Cardiovasc<br>Pharmacol          | 66(6):600-9                                  | 2015 | 5           | Nifedipine Hydrochloride and Amiodarone Hydrochloride Result in Similar Improvements for 24-Hour Survival in Cardiopulmonary Arrest Patients: The SOS-KANTO 2012 Study                                                                      | Mari Amino          | 東海大学医学部循環器内科          |    |
|                    | Internal and<br>Emergency Medicine | 11(4): 577-85                                | 2016 | 4           | Study on the priority of coronary arteriography or therapeutic hypothermia after return of spontaneous circulation in patients with out-of-hospital cardiac arrest patients with non-shockable rhythm between 2002 and 2012                 | Shuichi Hagiwara    | 群馬大学臓器病態救急学           |    |
|                    | Resuscitation                      | 101:e5-e6                                    | 2016 | 1           | Changeseinatropine use for out-of-hospital cardiac arrest patients with non-shockable rhythm between 2002 and 2012                                                                                                                          | Chie Tanaka         | 日本医科大学救急医学            |    |
|                    | Critical Care                      | 20(1), 49                                    | 2016 | 10          | Applying the termination of resuscitation rules to out-of-hospital cardiac arrests of both cardiac and non-cardiac etiologies: a prospective cohort study                                                                                   | Masahiro<br>Kashira | 都立墨東病院                |    |
|                    | J Cardiovasc<br>Pharmacol          | DOI:<br>10.1097/FJC.0000000000<br>0000388    | 2016 | 5           | Does antiarrhythmic drug during cardio-pulmonary resuscitation improve the one-month survival: The SOS-KANTO 2012 study.                                                                                                                    | Mari Amino          | 東海大学医学部循環器内科          |    |
|                    | Critical Care                      | 20(1), 49                                    | 2016 | 7           | Nighttime is associated with decreased survival and resuscitation efforts for out-of-hospital cardiac arrests: a prospective observational study                                                                                            | Taka-aki Nakada     | 千葉大学                  |    |
|                    | Critical Care                      | In press                                     | 2016 | 4           | Early lactate clearance is associated with improved outcomes in patients with postcardiac arrest syndrome: A prospective, multicenter observational study (SOSKANTO2012 study)                                                              | Kei Hayashida       | 慶応大学                  |    |



# The TAME Cardiac Arrest Trial

TARGETED THERAPEUTIC MILD HYPERCAPNIA AFTER RESUSCITATED CARDIAC ARREST: A PHASE III  
MULTI-CENTRE RANDOMISED CONTROLLED TRIAL

## 目的

心停止蘇生後患者に対する治療的高 CO2 血症が神経予後改善を改善するか検証する

## 背景（参照）

- Antoine G. Schneider et al. Arterial carbon dioxide tension and outcome in patients admitted to the intensive care unit after cardiac arrest Resuscitation 84 (2013) 927-934
- Glenn M. Eastwood et al. Targeted therapeutic mild hypercapnia after cardiac arrest: A phase II multi-centre randomised controlled trial (the CCC trial) Resuscitation 104 (2016) 83-90

## 方法

デザイン 第 III 相多国間多施設共同ランダム化併行群間比較試験

研究期間 2017 年～2021 年（日本からの患者登録は 2018 年からを予定）

対象と予定患者数 院外心停止蘇生後、ICU に入室した成人患者。1700 人（研究全体）。

### 適格基準

【選択基準】・成人（18 歳以上）・非外傷性院外心停止蘇生後の昏睡状態・侵襲的人工呼吸管理を受けている・ICU 入室中・心停止発生から 6 時間以内・低酸素脳症のリスクがあると考えられる

【除外基準】・妊娠中または妊娠の可能性がある・侵襲的人工呼吸管理を受けていない・指示に応じる・頭蓋内圧上昇を疑う（臨床的または画像的）所見がある・頭蓋内出血を疑う（臨床的または画像的）所見がある・重度の COPD・肺高血圧症の既往または疑い・ICU 入室 6 時間以内に補正されていない重度の代謝性アシドーシス（ $\text{pH} < 7.1$  かつ  $\text{BE} < -6\text{mmol/L}$ ）・他の医療機関からの転送・担当医が参加に不適切と判断した・窒息による心停止・瀕死の状態

### 治療プロトコール（ランダム化後 24 時間）

【TTMH グループ】 RASS-3～-4 を目標に鎮静、動脈血液ガスを 4 時間毎（または EtCO<sub>2</sub> の変化  $> 5\text{mmHg}$  時）に採取し、PaCO<sub>2</sub> を 50-55mmHg となるように分時換気量を調整

【標準ケアグループ】 RASS-3～-4 を目標に鎮静、動脈血液ガスを 4 時間毎（または EtCO<sub>2</sub> の変化  $> 5\text{mmHg}$  時）に採取し、PaCO<sub>2</sub> を 35-45mmHg となるように分時換気量を調整

24 時間の治療プロトコール終了後は、担当医の判断で PaCO<sub>2</sub> の目標値を定め、その他の診療については既存の診療プロトコール及び ILCOR の推奨に従う。

主要評価項目 ランダム化 6 ヶ月後の GOSE

研究組織 ANZIC Research Centre, Melbourne, Australia.  
Prof. Rinaldo Bellomo

問い合わせ 京都大学大学院医学研究科 藤井 智子 tofujii-tky@umin.net

参加調査 <https://goo.gl/forms/OsojSz0xQLbEBuut2>

## 「関東災害医療連絡会議」開催のご案内

日本救急医学会関東地方会常任幹事（関東災害連絡会議担当）

河野 元嗣

### 第 1 回 関東災害医療連絡会議

#### 開催目的

首都直下型地震や東京オリンピックに備えて、多数傷病者対策が必要です。各県で災害医療コーディネーターが設置されていますが、県境を越えた連携が必要となった場合に備え、情報共有の場を設けたいと考え、本会議開催のはこびとなりました。

#### 開催日時

2017 年 2 月 4 日(土)15~16 時（第 67 回日本救急医学会関東地方会併設）

#### 開催場所

栃木県総合文化センター第一会議室（第 67 回日本救急医学会関東地方会 第 4 会場）

#### 開催対象

会議は公開で開催します。参加者に制限はありません。興味のある方多数のご参加をお待ちしております。

#### 議事内容

司会進行 常任幹事（関東災害連絡会議担当）河野元嗣

##### 1. 基調講演

東京大学森村尚登先生「首都直下型地震における多数傷病者発生シミュレーション」

##### 2. 関東各県災害医療コーディネーターの現況

茨城県：筑波メディカルセンター病院阿竹茂先生

栃木県：獨協医科大学和氣晃司先生

群馬県：前橋赤十字病院町田浩志先生

埼玉県：さいたま赤十字病院田口茂正先生

千葉県：千葉県救急医療センター嶋村文彦先生

東京都：多摩総合医療センター森川健太郎先生

神奈川県：北里大学浅利靖先生

時間が許せば最後に意見交換の予定です。

## 『日本救急医学会関東地方会雑誌』第 37 卷 2 号 制作報告

2017 年 2 月 4 日  
編集担当常任幹事 田中 裕

### 1) 論文投稿数

全投稿数：91 本〔医師部会：80 本，看護部会：8 本，救急隊員学術研究会：3 本〕  
(うち 4 本は昨年以前発表論文)

|                   | 論文数                                                        | 備考        |
|-------------------|------------------------------------------------------------|-----------|
| 2016 年<br>学会全発表数  | 295 件<br>〔医師部会：211 件，看護部会：43 件，<br>救急隊員学術研究会：39 件，その他 2 件〕 | 投稿率：29.5% |
| 辞退・未着             | 208 本                                                      |           |
| 2016 年<br>発表論文投稿数 | 87 本<br>〔医師部会：78 本，看護部会：6 本，<br>救急隊員学術研究会：3 本〕             |           |

【参考：投稿率の推移について】

|       | 2009 年<br>30 卷 | 2010 年<br>31 卷 | 2011 年<br>32 卷 | 2012 年<br>33 卷 | 2013 年<br>34 卷 | 2014 年<br>35 卷 | 2015 年<br>36 卷 | 2016 年<br>37 卷 |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 学会発表数 | 212            | 193            | 213            | 280            | 287            | 254            | 251            | 295            |
| 辞退・未着 | 123            | 101            | 132            | 182            | 195            | 162            | 176            | 208            |
| 投稿数   | 89             | 92             | 81             | 93             | 91             | 68             | 75             | 87             |
| 投稿率   | 42.0%          | 47.7%          | 38.0%          | 33.2%          | 31.5%          | 26.8%          | 29.9%          | 29.5%          |

### 2) 掲載論文数

|       | 論文数                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------|
| 掲載論文数 | 82本 <sup>※</sup><br>(医師部会：76本，看護部会：3本，<br>救急隊員学術研究会：3本) |
| 査読継続  | 8本                                                      |
| 投稿辞退  | 1本                                                      |
| 論文受理率 | 89.6%                                                   |

※昨年以前の学会で発表された 4 本を含む

### 3) 広告数

2 社 (広告依頼数 全 84 社)  
(大研医器株式会社，真興交易(株)医書出版部)

#### 4) 編集スケジュール

|         |                                                                                                                |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月 6日   | 日本救急医学会関東地方会学術集会, 論文投稿受付開始                                                                                     |
| 2月 12日  | 救急隊員学術研究会                                                                                                      |
| 3月下旬    | 論文投稿依頼                                                                                                         |
| 4月 18日  | <u>編集委員会開催</u>                                                                                                 |
| 4月下旬    | 論文投稿再依頼                                                                                                        |
| 5月下旬    | 編集委員長が担当者分担決定                                                                                                  |
| 6月上旬～   | <u>1回目査読 (1カ月程度)</u>                                                                                           |
| 7月～8月   | 評価Ⅱ (一部修正), Ⅲ (全面修正) の論文については順次執筆者に戻し,<br>リライトを依頼 (3週間)<br>評価Ⅰ (採用) の論文については編集委員長の決済<br>→採用分は初校作成・著者校正依頼 (事務局) |
| 8月～10月  | <u>2回目査読 (1カ月程度)</u>                                                                                           |
| 10月～11月 | 評価Ⅱ, Ⅲの論文についてはリライトを依頼 (3週間)<br>評価Ⅰの論文については編集委員長の決済<br>→採用分は初校作成・著者校正依頼 (事務局)                                   |
| 11月～    | <u>3回目査読 (査読期間は適宜相談)</u>                                                                                       |
| 12月上旬   | 責了                                                                                                             |
| 12月末    | 納品・発送                                                                                                          |

以上

## 日本救急医学会関東地方会ホームページ報告

2017 年 2 月 4 日

ホームページ担当常任幹事 田中 裕

### 1. ホームページ更新情報について

委託先：京葉コンピューターサービス

#### 【2016 年 1 月】

- ・ 投稿規程を更新しました。(16. 01. 20)

#### 【2016 年 2 月】

- ・ SOS-KANTO を更新しました。投稿規程を更新しました。(16. 02. 04)
- ・ 幹事名簿を更新しました。(16. 02. 09)
- ・ 投稿規程を更新しました。利益相反申告書 (COI) をアップしました。(16. 02. 24)
- ・ 役員一覧を更新しました。(16. 02. 25)

#### 【2016 年 3 月】

- ・ 関連学会案内を更新しました。(16. 03. 01)
- ・ 関連学会案内を更新しました。(16. 03. 14)
- ・ 関連学会案内を更新しました。(16. 03. 22)
- ・ 学術集会を更新しました。関連学会案内を更新しました。(16. 03. 25)

#### 【2016 年 4 月】

- ・ 関連学会案内を更新しました。(16. 04. 07)

#### 【2016 年 6 月】

- ・ 関連学会案内を更新しました。(16. 06. 10)

#### 【2016 年 7 月】

- ・ 関連学会案内を更新しました。(16. 07. 04)

#### 【2016 年 8 月】

- ・ 学術集会を更新しました。(16. 08. 01)

#### 【2016 年 9 月】

- ・ 学術集会を更新しました。(16. 09. 02)
- ・ 学術集会を更新しました。関連学会案内を更新しました。(16. 09. 21)

#### 【2016 年 10 月】

- ・ 関連学会案内を更新しました。(16. 10. 12)

#### 【2016 年 11 月】

- ・ 関連学会案内を更新しました。(16. 11. 04)
- ・ 新幹事公募のお知らせを掲載しました。(16. 11. 22)

以上

第 68 回日本救急医学会関東地方会学術集会  
第 55 回救急隊員学術研究会（予定）

会期：2018 年 1 月 27 日（土）：第 68 回日本救急医学会関東地方会学術集会  
1 月 28 日（日）：第 55 回救急隊員学術研究会

会場：東京大学本郷キャンパス大講堂（安田講堂 他）  
〒113-8654 東京都文京区本郷 7 丁目 3-1

会長：森村尚登（東京大学大学院医学系研究科 救急医学）

運営：株式会社ドウ・コンベンション

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学大学院医学系研究科 救急医学 内  
TEL：03-5800-9441

テーマ：「点から線へ、線から面へ。面で支える救急医療」

来る 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催時の救急災害医療体制の構築を見据えながら、地域全体を面で守る救急医療体制の構築について議論を深めていく予定



[http://jaam68\\_kantou.umin.ne.jp/](http://jaam68_kantou.umin.ne.jp/)

# 第68回日本救急医学会関東地方会学術集会 第55回救急隊員学術研究会

## 点から線へ、 線から面へ。 面で支える救急医療

会長

森村 尚登  
(東京大学大学院医学系研究科救急科学)

会場

東京大学  
本郷キャンパス大講堂(安田講堂)  
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1

会期

第68回日本救急医学会関東地方会学術集会  
2018年1月27日(土)  
第55回救急隊員学術研究会  
2018年1月28日(日)



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

事務局

東京大学医学部救急科学教室

事務局長：橋田 要一

事務担当：上田 吉宏

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL : 03-3815-5411(Ext. 35195)

FAX : 03-3814-6446

E-mail: jaam68\_kantou-office@umin.ac.jp

運営事務局

株式会社ドウ・コンベンション内

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-23-5F

TEL : 03-5289-7717 FAX : 03-5289-8117

E-mail: jaam68\_kantou-office@umin.ac.jp

日本救急医学会関東地方会 2016年度決算報告書  
(2016年1月1日～2016年12月31日)

【収入の部】

| 科目          | 予算               | 決算               | 予算比              | 備考                   |
|-------------|------------------|------------------|------------------|----------------------|
| <b>会費収入</b> | <b>6,500,000</b> | <b>6,440,000</b> | <b>△ 60,000</b>  | 幹事：10,000円・一般：5,000円 |
| 当年度・過年度収入   |                  | 6,395,000        |                  |                      |
| 前受会費収入      |                  | 45,000           |                  |                      |
| <b>雑収入</b>  | <b>535,200</b>   | <b>270,030</b>   | <b>△ 265,170</b> |                      |
| 広告掲載料       | 300,000          | 50,000           | △ 250,000        | 37巻2号                |
| 銀行預金利息      | 200              | 30               | △ 170            |                      |
| 地方会補助金      | 200,000          | 200,000          | 0                | 日本救急医学会              |
| その他         | 35,000           | 20,000           | △ 15,000         | 別刷代                  |
| 収入合計        | 7,035,200        | 6,710,030        | △ 325,170        |                      |

【支出の部】

| 科目             | 予算               | 決算               | 予算比            | 備考                        |
|----------------|------------------|------------------|----------------|---------------------------|
| <b>事業費</b>     | <b>7,369,028</b> | <b>6,665,597</b> | <b>703,431</b> |                           |
| 刊行費(発送費を含む)    | 3,700,000        | 3,628,811        | 71,189         | 36巻2号製作費(2015年12月発刊), 発送費 |
| 地方会補助費         | 2,200,000        | 2,200,000        | 0              | 獨協医科大学                    |
| 会議費            | 500,000          | 209,775          | 290,225        |                           |
| 常任幹事会          |                  | 134,942          |                | 年2回開催                     |
| 編集委員会          |                  | 18,587           |                | 年1回開催                     |
| 会計監査           |                  | 950              |                |                           |
| 看護部会運営委員会      |                  | 29,160           |                | 年1回開催                     |
| その他            |                  | 26,136           |                | 学術総会時開催委員会諸経費             |
| 交通費            | 300,000          | 106,259          | 193,741        |                           |
| 常任幹事会          |                  | 27,000           |                |                           |
| 編集委員会          |                  | 54,000           |                |                           |
| 事務局            |                  | 5,259            |                | 学術総会, 諸会議立ち会い             |
| 会計監査           |                  | 4,000            |                |                           |
| 看護部会運営委員会      |                  | 16,000           |                |                           |
| 印刷費            | 200,000          | 132,560          | 67,440         | 事務局コピー代                   |
| ホームページ運営費      | 269,028          | 269,028          | 0              | 21,600円×12ヵ月+ドメイン管理費      |
| SOS-KANTO 2012 | 200,000          | 119,164          | 80,836         |                           |
| 会議費            |                  | 0                |                |                           |
| 交通費            |                  | 63,000           |                |                           |
| 通信費            |                  | 6,164            |                |                           |
| データ処理費         |                  | 50,000           |                |                           |
| <b>事務費</b>     | <b>1,461,600</b> | <b>1,373,042</b> | <b>88,558</b>  |                           |
| 通信費            | 300,000          | 232,322          | 67,678         |                           |
| 切手代            |                  | 8,200            |                |                           |
| 宅配便代           |                  | 28,420           |                |                           |
| その他発送費         |                  | 195,702          |                |                           |
| 業務委託費          | 1,101,600        | 1,101,600        | 0              | 委託先：(株)へるす出版事業部           |
| 消耗品費           | 50,000           | 27,354           | 22,646         |                           |
| 振込手数料          | 10,000           | 11,766           | △ 1,766        |                           |
| <b>予備費</b>     | <b>50,000</b>    | <b>0</b>         | <b>50,000</b>  |                           |
| 支出合計           | 8,880,628        | 8,038,639        | 841,989        |                           |
| 収支             | -1,845,428       | -1,328,609       |                |                           |
| 前年度(2015年)繰越金  | 10,451,487       | 10,451,487       |                |                           |
| 次年度(2017年)繰越金  | 8,606,059        | 9,122,878        |                |                           |

|        |            |
|--------|------------|
| 銀行口座残高 | ¥420,727   |
| 郵便口座残高 | ¥8,752,151 |
| 小口現金残高 | ¥0         |
| 未払金    | ¥50,000    |
| 合計     | ¥9,122,878 |



## 監査報告書

日本救急医学会関東地方会の2016年度(2016年1月1日～2016年12月31日)における収支計算書、およびそれに付随する諸帳簿について必要な監査手続きを実施した結果、2016年度の経営状況を適正に表現しており、かつ会計手続きに不正のないことを認める。

以上

2017年 1月 6日

日本救急医学会関東地方会

監事 山口 芳 裕 

監事 坂本 哲 世 

日本救急医学会関東地方会 2017年度予算(案)  
(2017年1月1日～2017年12月31日)

【収入の部】

| 科目     | 2016年度予算  | 2016年度決算  | 2017年度予算  |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 会費収入   | 6,500,000 | 6,440,000 | 6,500,000 |
| 雑収入    |           |           |           |
| 広告掲載料  | 300,000   | 50,000    | 200,000   |
| 銀行預金利息 | 200       | 30        | 200       |
| 補助金    | 200,000   | 200,000   | 200,000   |
| その他    | 35,000    | 20,000    | 35,000    |
| 収入合計   | 7,035,200 | 6,710,030 | 6,935,200 |

【支出の部】

| 科目          | 2016年度予算   | 2016年度決算   | 2017年度予算   |
|-------------|------------|------------|------------|
| 事業費         |            |            |            |
| 刊行費(発送費を含む) | 3,700,000  | 3,628,811  | 4,186,274  |
| 地方会補助費      | 2,200,000  | 2,200,000  | 2,200,000  |
| 会議費         | 500,000    | 209,775    | 300,000    |
| 交通費         | 300,000    | 106,259    | 250,000    |
| 印刷費         | 200,000    | 132,560    | 150,000    |
| ホームページ運営費   | 269,028    | 269,028    | 269,028    |
| SOS-KANTO   | 200,000    | 119,164    | 150,000    |
| 事務費         |            |            |            |
| 通信費         | 300,000    | 232,322    | 300,000    |
| 業務委託費       | 1,101,600  | 1,101,600  | 1,101,600  |
| 消耗品費        | 50,000     | 27,354     | 50,000     |
| 振込手数料       | 10,000     | 11,766     | 10,000     |
| 予備費         | 50,000     | 0          | 50,000     |
| 支出合計        | 8,880,628  | 8,038,639  | 9,016,902  |
| 収支          | -1,845,428 | -1,328,609 | -2,081,702 |
| 前年度繰越金      | 10,451,487 | 10,451,487 | 9,122,878  |
| 次年度繰越金      | 8,606,059  | 9,122,878  | 7,041,176  |

## 名誉会員の推戴について

- ・平成 28 年 8 月 2 日常任幹事会承認
- ・日本救急医学会関東地方会会則施行細則第 22 条 2 (3) に従い、承認を得られた候補者

(敬称略 五十音順)

| 氏名    | 役員歴                                         | 所属先                 |
|-------|---------------------------------------------|---------------------|
| 兼坂 茂  | 平成 16～19 年常任幹事<br>平成 22～25 年監事<br>平成 26 年会長 | 湘南東部総合病院            |
| 行岡 哲男 | 平成 21 年会長<br>平成 10 年～13 年常任幹事               | 東京医科大学<br>災害・救急医学分野 |

### 日本救急医学会関東地方会会則 (抜粋)

#### 第 3 章 会員

(構成)

第 5 条 本会は、次の会員によって構成する。

- (2) 名誉会員：本会の発展に特に功労のあった者で、別に定める細則により推薦され、承認された者

### 日本救急医学会関東地方会会則施行細則 (抜粋)

#### 第 5 章 名誉会員

第 21 条 名誉会員は、常任幹事が推薦し、幹事会の承認を要する。

第 22 条 名誉会員は、幹事会に出席し、意見を述べるができるが、議決に加わることは出来ない。

2 名誉会員の推戴要件は、以下の通りとする。

- (1) 役員経験者であること
- (2) 65 歳以上であること
- (3) 本人に名誉会員となる意思があること

## 名誉会員名簿

|        |       |       |        |
|--------|-------|-------|--------|
| 饗場 庄一  | 荒木 駿二 | 上田 守三 | 上松瀬 勝男 |
| 佐々木 仁也 | 島崎 修次 | 杉山 貢  | 鈴木 忠   |
| 高橋 愛樹  | 中江 純夫 | 中野 達也 | 平澤 博之  |
| 前川 和彦  | 松田 博青 | 茂木 正壽 | 矢崎 誠治  |
| 山本 保博  | 相川 直樹 | 小池 荘介 | 林 成之   |
| 辺見 弘   | 山中 郁男 | 芦川 和高 | 大和田 隆  |
| 野口 照義  | 山本 修三 | 石田 清  | 市来寄 潔  |
| 梅園 明   | 葛西 猛  | 黒川 顯  | 都築 正和  |
| 中田 義隆  | 原口 義座 | 大橋 教良 | 相馬 一亥  |
| 長尾 建   | 益子 邦洋 | 有賀 徹  | 堀 進悟   |

名誉会員のご逝去 3名 渡辺 晃、針谷 英世、小林 國男

(推戴順敬称略)